

活動報告（5月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 生産振興課

表題：自動飛行対応モデルによる農業用ドローンの水稲湛水
直播試験を行いました

日時：令和3年5月24日（月曜日）

場所：静岡県浜松市



ドローン湛水直播

浜松市西区雄踏町の加茂文俊さんは、3年前からヤマハ発動機株式会社と協力し水稲の湛水直播栽培に取り組んでいます。

今年も「きぬむすめ」を用いて主食用水稲の湛水直播に挑戦します。

なお、コーティング剤には鉄黒コートを選択しました。これは、昨年、べんがらモリブデン被覆で受けた鳥害を回避するためです。

西部農林事務所は、引き続きスマート農業の取組を支援してまいります。

💡用語解説 ～コーティング剤～

水田に種子をそのまま播くと、種が水に浮く、鳥に食べられる等の問題が起きるため、種子をコーティングする技術が開発されています。

日本の多くの水稲では、苗を育てて、田んぼに移植しています。種子を直接田んぼに播くことができれば、苗を育てる必要がなく、コスト削減になります。